

【山形村】 1人1台端末の利活用に係る計画

項目	内容
①1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿	<p><全校研究テーマ> 「ひと・もの・こと」と関わり合いながら、自ら学びを深めていく子ども「プロジェクトY」</p> <p><R6年度ICT研究テーマ> 情報や情報技術を適切かつ効果的に活用できる児童の育成</p>
②GIGA第1期の総括	<ul style="list-style-type: none"> ・OSにはWindows10を採用、509台の端末を購入。これを活かすべく学習支援ソフト、デジタル教科書、拡大表示装置などを整備し環境の充実を図った。 ・活用が進むように教職員向けの研修会を実施し、指導力UPを図った。一方で教員個々のレベル差が顕在化し、利活用の濃淡が生じた。よって教員個々に応じたきめ細やかなサポートをするべく、ICT指導員の配置を実現した。 ・令和2年度にネットワーク環境を整備。また令和5年度より校外学習用のポケットWi-Fi3回線分(1学年分が同時に接続可)を運用。利活用が進むにつれ、回線速度不足による画面フリーズといった現象が多く見られるようにもなった。そのため改善の方向性を検討すべく、令和6年度中にネットワークアセスメントを実施予定。
③1人1台端末の利活用方策	<p>【1人1台端末の活用】 ・タブレットを活用した学習が引き続き行いやすくするよう、環境づくりを継続する。あらゆる学習場面、学校生活において1人1台端末を活用し、学校生活が充実したものとなるようにする。</p> <p>【個別最適・協働的な学びの一体的な充実】 ・クラスメイトの発表を通じて考え方を個々が理解し、個々間での意見のやり取りを学びの中に取り入れることで協働的な学びの充実をはかる。 ・個々の分からない所や躓き、逆に興味や関心を抱いていることを端末を通じて把握し、きめ細やかな指導に結び付ける。</p> <p>【学びの保障(臨時休業等の緊急時・不登校対策・特別支援教育・外国人児童生徒)】 ・社会が多様化・複雑化し、様々な子どもが学校に学ぶ環境下でも誰ひとり取り残されない様に学びを保証していくツールとして、1人1台端末をはじめとしたICT環境を充実させていく。 ・特別な配慮や支援が必要な子どもについては、個々にあった学びが図れるようにコンテンツを充実させる。</p>